

応募方法 1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☐koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介選

葛の蔓が呑むがに朽ちゆく空屋なり坐しし老女
 惚ばれてならぬ 菊地せつ子
 糸遊がしずかに揺れて一条のひかりにけさは癒
 やされてる 日下由美子
 発ちたれば空葉七日かツバメらよ復た来るかな
 と夫は咳く 阿部かつみ
 甘いなあ 一口頬張るが日課なりけさも三つ四
 つトマトが生るも 鎌田ねい子
 風鈴に涼をたのしむ風情さえ今年の猛暑は奪つ
 てしまふ 佐藤ひろ子
 扉あけて微笑みあつたその日から君と私へキセ
 キ重なる 阿部まゆみ
 日中はともかく寝るには網戸です昭和生まれへ
 風こちよし 我妻 孝則
 雷鳴がびびりひびく空の下煙のごとく雨が走
 れり 佐藤喜恵子
 板の間にごろつと昼寝の二十分猛暑に負けじと
 からだ休ます 佐藤 啓子
 去年捨てしスイカの種が発芽して実ひとつ生り
 蔓のばしゆく 末吉アツ子

【評】一首目、一句から三句へ迫力の描写。その必然の時
 の経過は老女への思いを一層募らせてゆく。坐ししは
 居られたの意。
 二首目、垂れて浮遊する蜘蛛の糸であろう、屈託あ
 る作者、暫しを忘れ見入るのである。
 三首目、空葉は使わなくなった鳥の巣、見守つてき
 た家人の春への思いが伝わる。

俳壇 山家弘子選

万緑にのみこまれゆく人家かな
 末吉アツ子
 ふるさとの清流もどり飛ぶ螢
 佐藤 昇
 時鳥鳴くや城下の町ガイド
 星 明
 五月晴球音びく河川敷
 佐藤 隆志

柳壇 四竈英夫選

燕の子巢立つや親と電線に
 葦原や葦切の声ひびきけり
 白百合の匂い残りし厨かな
 山田 もも
 仏前に大玉西瓜でんとあり
 我妻 孝則
 夏の蝶朝の散歩に寄り添いて
 菊地せつ子
 温麺の葉味は庭の茗荷なり
 平間 幸恵
 村八重子

【評】一句目、山々の若葉青葉が、日に日に雲のように盛
 りあがり広がりにゆくさまを大胆な比喩で描いた秀句。
 二句目、昔はぶつかるといふほどたくさんいた虫が、農薬
 や環境汚染で全滅になり久しいが自然を守る会の人た
 ちのお陰で虫の飛び交う古郷に。
 三句目、城下町のガイドになり久しい。歴史ある御
 城下を愛し、訪れた人たちを案内する喜びが伝わって
 くる。
 世乱を集めて一掃天の川
 棲み分けを越える獣に増す不安
 最上かおる
 遠藤 松雄
 パリメダル宮城選手に大拍手
 菊川いつ子
 諦めぬ心と絆パリ五輪
 末吉アツ子
 災害に総りの秋が飲まれ行き
 菊地せつ子
 予報官泣かず線状降水帯
 星 明
 志村かつい
 青田からあつという間に黄金色
 佐藤 啓子
 猛暑日は超特急で家事済ます
 遠藤 舞
 一日に何杯飲むかこの麦茶
 大庭美智子
 コロナ菌油断をすればカムバック

【評】一句目、事件事故、政界財界の出来事などまさに世
 乱の様相。それらを集めて銀河の天の川に流したい。
 作者の心情が表れている。
 二句目、今年も熊などの被害が多発している。木の
 実の不作で人里まで獣が下りて来る現実。異常気象で
 自然の摂理が崩れることに危機感が。
 三句目、パリ五輪で日本勢は海外大会での過去最多
 のメダルを獲得した。宮城の選手も大活躍。勇気と感
 動を与えてくれた選手団に万来の拍手を！



▲協力して柿渋の汁を搾り取る児童たち

地域の方と仲良く交流

小原小学校「柿渋作り」

8月28日、小原小学校の児童4人が小原公民館で「柿渋作り」を行いました。児童たちは「柿渋作りを楽しむ会」の皆さんと一緒に、柿の実を細かく刻む作業や柿渋の汁を搾る作業を体験。参加した児童は「大変な作業もありましたが楽しかったです。地域との関わりも増えて仲良くなれたと思います」と話してくれました。



▲試合前に握手をする両チームの選手

野球を通じた友情！

海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会

8月24日、姉妹都市である神奈川県海老名市と本市の少年野球選抜チームが、益岡公園野球場で交流大会を行いました。この大会は、両市の親善や交流を通して子どもたちの友情と相互理解を深めることを目的に開催。海老名市の選手たちは、本市の選手宅にホームステイするなどして、両市間の交流を深めました。



1_ホストシスター・ブラザーと対面！ 2_聖ラファエル校の生徒に書道を教える団員たち 3_カウラの収容所跡地で行われた慰霊式典

自分の肌で感じた異文化

令和6年度オーストラリア友好親善訪問団

市内の中学生10人と引率者2人を含む「オーストラリア友好親善訪問団」が、7月29日から8月7日までの日程でオーストラリアを訪問しました。団員たちは、日本と縁の深いカウラ市で学校体験やホームステイなど、普段とは違う生活に刺激を受けながら、充実した日々を過ごしました。また、第二次世界大戦時、カウ

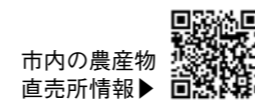
ラ市の捕虜収容所で起きた「日本兵捕虜集団脱走事件」から80年の節目の慰霊式典に参加するなど、多くの貴重な体験をしました。

8月21日の解団式で団員たちは「今回の訪問で学んだことを多くの方へ伝えていきたいです」と感想を話していました。団員たちは心身ともに一回り成長した姿を見せてくれました。

Shiroishi Market フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
 ～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～



直売所紹介「馬牛沼産直センター」

齋川地区の生産者が手がける自慢の農産物や加工品を販売。商品は、生産者が朝搬入しているので、とても新鮮です。

毎年好評の「新米まつり」は、10月5日(土)～27日(日)に開催。蔵王のおいしい水と粘土質で作られた「齋川米」の新米をお得に入手できる機会です。皆さんぜひお越しください！

- 営業日時 毎週火・木・土・日曜日 9:00～17:00
- 場所 齋川字馬牛1-3 (国道4号沿い馬牛沼付近) ☎25-0520



▲愛情をたっぷり注いだ農産物を取りそろえて、お待ちしております！